

国語科

教科名	国語	科目名	現代文
科目の目標	近代以降の様々な文章を読む能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで表現し読書することによって人生を豊かにする態度を身につける。		
履修学年	3年	類型	文系・理系共通
単位数	2単位	履修形態	必修
教科書	現代文B(改訂版 下) (大修館書店)	副教材等	新訂総合国語便覧(第一学習社)

①学習の目標

- (1) 国語を正確に理解し、的確に表現する能力を発展させる。
- (2) 言語感覚を磨き、思考力を伸ばし、伝え合う力を高める。
- (3) 近代以降の様々な文章を読み、読書に親しむ態度を身につけ、言語文化への関心を高める。

②学習内容と授業の進め方

- (1) 論理的な文章について、論理の展開や要旨を的確にとらえる。
- (2) 文学的な文章について、人物、情景、心情などを的確にとらえ、表現を味わう。
- (3) 様々な文章を読むことを通して、人間、社会、自然などについて自分の考えを深めたり発展させたりする。
- (4) 語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにするとともに、文体や修辞などの表現上の特色をとらえる。
- (5) 目的や課題に応じて様々な情報を収集し活用して、進んで表現する。
- (6) 優れた表現に接してその条件を考え、自分の表現に役立てる。
- (7) 目的や場に応じた話し方や言葉遣いなどを身に付ける。
- (8) 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書けるようにする。

③学習に当たっての留意点

- (1) 常に主体的に学習に取り組むことを心がけ、自分の考えを持ち、積極的に発言、表現する姿勢を持つこと。
- (2) 様々な表現技巧、語句、語彙について辞書や便覧などで調べ、読解に役立てるとともに、日常の言語活動に利用すること。
- (3) 論理的文章について、論理の展開や要旨を的確に捉えること。また、書き手の考えやその展開などについて意見を書くこと。
- (4) 文学的文章について、人物、情景、心情などを的確に捉え、表現を味わうこと。また、人物の生き方やその表現の仕方などについて話し合うこと。
- (5) 様々な文章を読んで人物、社会、自然などについて自分の考えを深めたり発展させるとともに興味関心を広げるために、関連する文章を読んだり創作的な活動を行ったりすること。
- (6) 課題は期限を守って確実に提出すること。

④評価の観点

(1) 「関心・意欲・態度」【関】

自らの国語力の向上を図るため、予習・復習をしっかりと行い、授業に関しても、その内容を積極的に理解し、自らを高めようとする姿勢が見受けられることを基本とする。様々な課題に関しても、取り組みが充分であり、自主的に質問をしたりするなど、理解しようとする態度も評価する。さらに、教材や作者に関して主体的に調べたり、発展的に学習を進めたりすることができることが望ましい。

(2) 「話すこと・聞くこと」【話】

「話すこと」に関しては、目的や場に応じて、自分の意見を述べるができることを基本とする。さらに、様々な問題について自分の考えをまとめ、構成を考え、筋道立てて相手に分かりやすく話すことができることが望ましい。また、「聞くこと」に関しては、まとまった長さの説明を聞いて、内容を正確に理解できることを基本とする。さらに、その内容に共感したり、問題点を指摘したりすることができることが望ましい。

(3) 「書くこと」【書】

誤字・脱字や、主述や文脈の乱れがなく、相手や目的に応じて言葉や文体を使い分けて書くことができることを基本とする。さらに、論理的な構成を工夫したり、効果的な表現を交えて書くことができることが望ましい。

(4) 「読むこと」【読】

表現に留意して、様々な文章の内容を読み取り、ものの見方・感じ方・考え方を広げ、描かれた人物・情景・心情などを味わっていくことができることを基本とする。さらに、難解な文章でも文脈に即して的確に読み取り、自らの考えを深めていくことができることが望ましい。

(5) 「知識・理解」【知】

近代以降の様々な文章の読解を通して、語彙・表現・文学史等を理解し、今後の文章読解・鑑賞・表現に役立てられる知識として蓄積することを目指す。

⑤評価の方法

「関心・意欲・態度」「話す・聞く能力」「書く能力」「読む能力」「知識・理解」の5つの観点で、以下の学習の状況を総合的に評価する。

- (1) 学習活動に対する取組姿勢
- (2) 提出された課題の内容
- (3) 定期考査および小テストの結果

⑥授業計画

月	単元名	具体的な学習内容	評価の方法など(観点項目を記入)
4	論理を意識して文章を読解しよう①	〔評論(ヒューマニズムと知性)〕 「贈り物」としてのノリス・オブリージュ(内田樹)	【関】論理的文章の構成や要旨などを的確に捉えようとしている。 【読】論理的文章の構成や要旨などを的確に捉えている。 【知】語句の意味、用法を的確に理解している。
5			【書】文章を読解することを通して、自分自身の能力・将来などについて自分の考えを深めたり発展させたりしている。
6	論理を意識して文章を読解しよう②	〔評論(生命と多様性)〕 生物多様性の恩恵(鷲谷いづみ)	【関】具体例を多用した論理的文章の論旨を的確に理解しようとしている。 【知】語句の意味、用法を的確に理解している。
			【読】具体と抽象論の関係性を正しく把握し、文章の構成を的確に捉え自然、人間のあり方について理解を深めている。
			〔前期中間考査〕および提出物
7	文学を読もう	〔小説〕 檸檬(梶井基次郎)	【関】文学的文章を読んで、人物や情景、心情の描写などを的確に捉えようとしている。 【読】文学的文章を読んで、人物や情景、心情の描写などを的確に捉えている。
			【知】語句の意味、用法を的確に理解している。
8	論理を意識して文章を読解しよう③	〔評論(空間と時間)〕 日本文化の三つの時間(加藤周一)	【関】論理的文章の構成や要旨などを的確に捉えようとしている。 【読】論理的文章の構成や要旨などを的確に捉えている。
9			【知】語句の意味、用法を的確に理解している。
			〔前期期末考査〕
	論理を意識して文章を読解しよう④	〔評論(身体と哲学)〕 こころは見える?(鷲田清一)	【関】抽象的な概念を扱う「哲学的な思考」を求められる文章を読んで、論旨を的確に捉えようとしている。
10			【読】抽象的な表現を的確にたどり、「こころ」を理解する上での「身体」について筆者の論理を的確に捉えている。
			【知】語句の意味、用法を的確に理解している。
11	論理を意識して文章を読解しよう⑤	〔評論(社会とネットワーク)〕 ネットワーク上のコミュニケーション(江下雅之) 〔評論(文学の言葉)〕 姿-日本のレトリック(尼ヶ崎彬)	【関】論理的文章の構成や要旨などを的確に捉えようとしている。 【読】論理的文章の構成や要旨などを的確に捉えている。
			【知】語句の意味、用法を的確に理解している。
			〔後期中間考査〕および提出物
12 1 2 3	演習をしよう	センター試験型設問および二次試験型設問に関する演習	